



2026年3月期 第2四半期決算

2025年11月5日
トヨタ自動車株式会社

CENTURY

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場（主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場）、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律・規制の変更およびその他の政府行為で、当社の事業に影響を与えるもの（特にリコール等改善措置を含む安全性、環境保全、自動車排出ガスおよび燃費効率に関する法律・規制および政府行為、ならびに関税およびその他の貿易政策）、ならびに現在・将来の訴訟やその他の法的手続き、当局手続きおよび調査
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ブランド・イメージの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響
- 有能で多様な人材を確保・維持する能力

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書（フォーム20-F）をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知し

かつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービス）により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

2026年3月期 第2四半期決算サマリー

TOYOTA

商品力を活かし、未来へのチャレンジを継続しつつ、環境変化に強い収益構造を目指す

第2四半期 累計実績

営業利益2.0兆円（前年同期比△0.5兆円）

- ・ 米国関税影響がある中、商品力を背景とした強い需要に支えられ、
日本・北米を中心に販売台数が増加、バリューチェーン収益も拡大

通期 見通し

営業利益3.4兆円（前期比△1.4兆円）

- ・ 米国関税影響下でも、台数増・原価改善・バリューチェーン収益拡大
など改善努力を積み上げ
- ・ 未来に向けた総合投資を生産性の向上やリターンの拡大に着実につなげ、
損益分岐台数の改善にこだわる

株主還元

長期保有の株主の皆様に報いる安定増配の方針を堅持

- ・ 中間：45円（前期比＋5円） ・ 年間予想：95円（前期比＋5円）

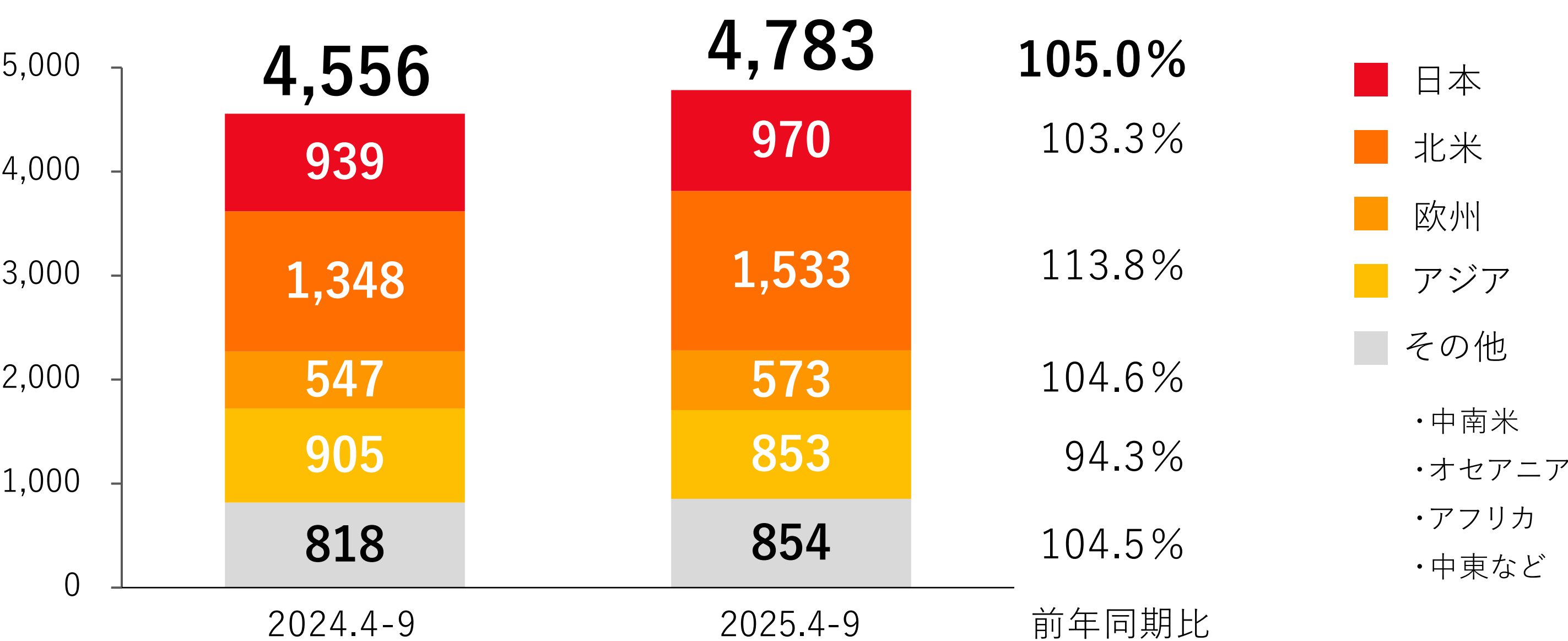
ブランド 商品戦略

トヨタグループの5ブランドを改めて明確にし、ブランドの方向性を明示
お一人おひとりに応える多様な商品で、お客様の選択肢を更に拡大

2026年 3 月期 第 2 四半期 実績

連結販売台数（6ヶ月累計）

（単位：千台）



ご参考（小売）

トヨタ・レクサス販売台数	5,029	5,267	104.7%
電動車 [比率]	2,231 [44.4%]	2,471 [46.9%]	110.7%
内、HEV	2,077	2,271	109.3%
PHEV	75	98	129.8%
BEV	78	101	129.8%
FCEV	1	0	52.1%
グループ総販売台数	5,373	5,643	105.0%

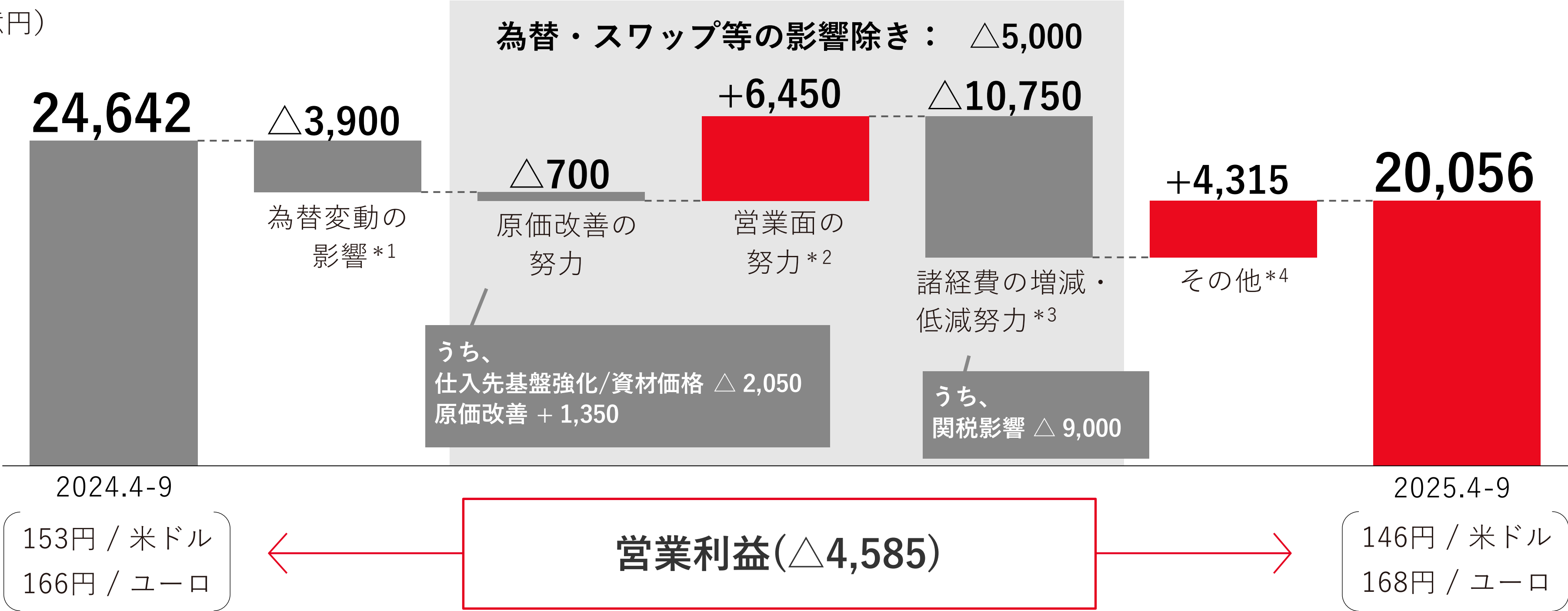
連結決算要約（6ヶ月累計）

(単位：億円)		2024.4-9	2025.4-9	増減
営業収益		232,824	246,307	+13,483
営業利益		24,642	20,056	△4,585
営業利益率		10.6%	8.1%	
営業外損益		2,678	4,724	+ 2,045
持分法による投資損益		2,643	2,726*	+ 83
税引前利益		27,320	24,781	△2,539
親会社の所有者に帰属する当期利益		19,071	17,734	△1,336
当期利益率		8.2%	7.2%	
為替レート	米ドル	153円	146円	7円円高
	ユーロ	166円	168円	2円円安

* うち、日本1,836（前年同期比△48）、中国480（同+102）、その他408（同+28）

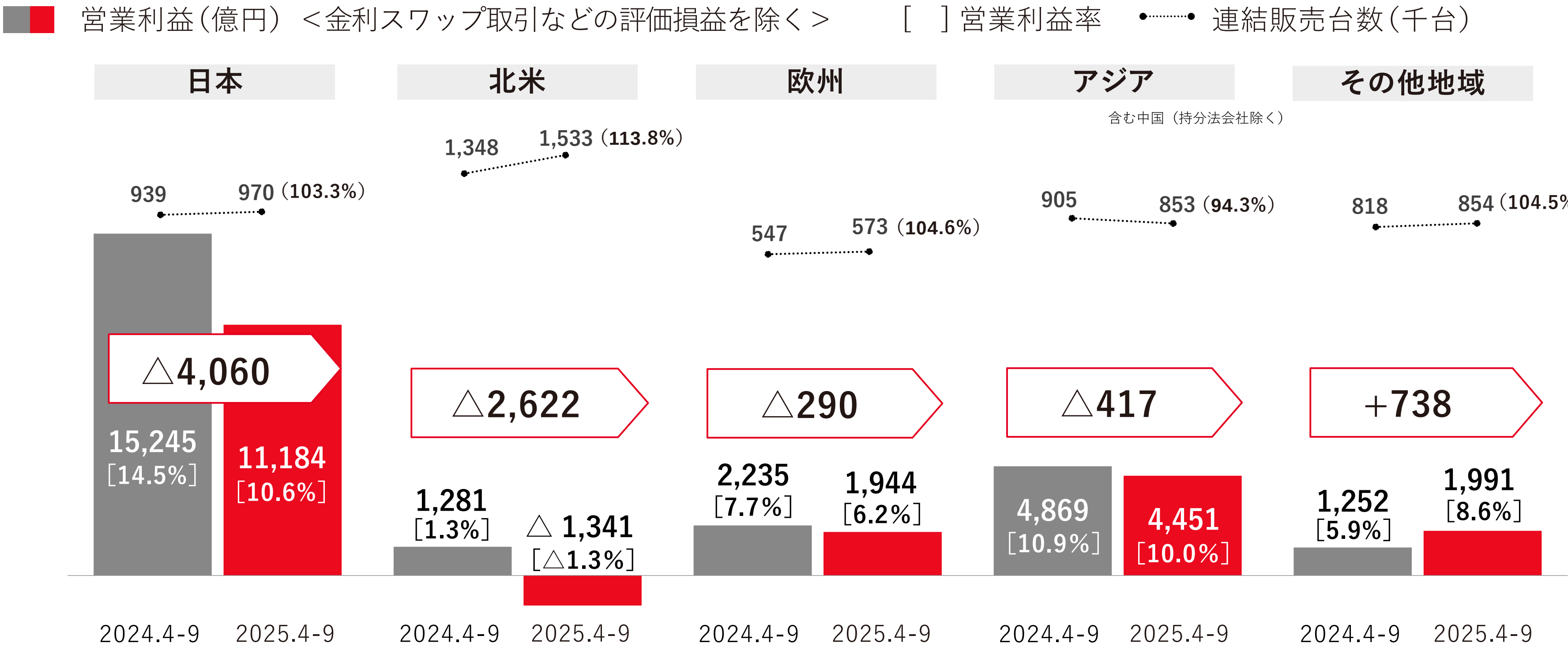
連結営業利益増減要因（6ヶ月累計）

（単位：億円）



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	△3,100	台数・構成	+3,100	労務費	△800	スワップ等の評価損益	+783
└ - 米ドル	△1,750	バリューチェーン	+1,300	減価償却費	△50	インフレ会計等の影響	+392
└ - ユーロ	+100	└ - 金融事業	+600	研究開発費	△700	日野北米認証関連 (前期の一時費用)	+2,300
└ - その他通貨	△1,450	└ - 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+700	経費ほか	△9,200	その他	+840
海外子会社の営業利益換算差ほか	△800	その他	+2,050				

所在地別営業利益(6ヶ月累計)



金利スワップ取引などの評価損益を含む営業利益(億円)

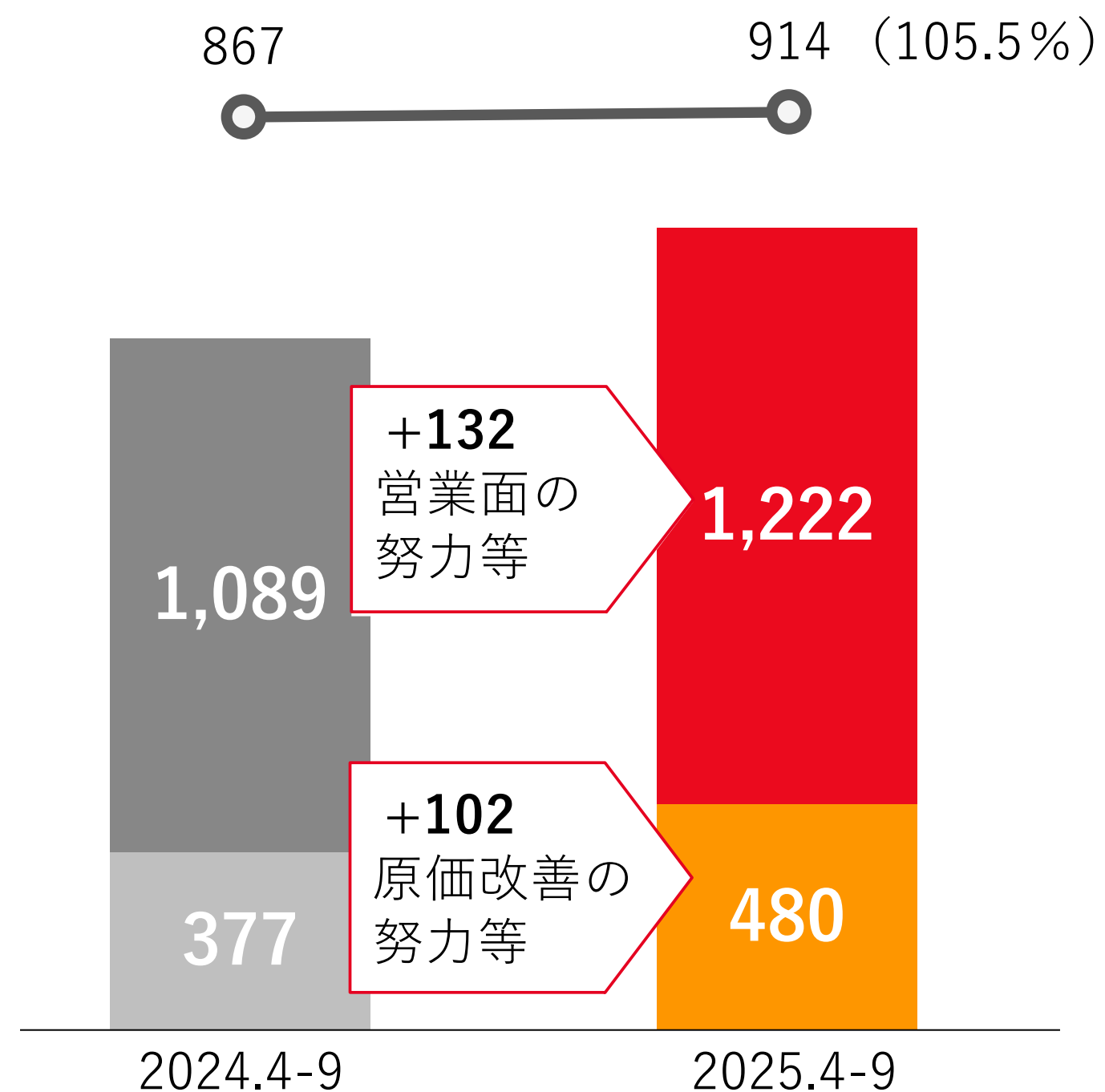
15,224	11,171	1,137	△678	2,159	2,007	4,904	4,442	1,406	2,019
--------	--------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

中国事業/金融セグメント（6ヶ月累計）

TOYOTA

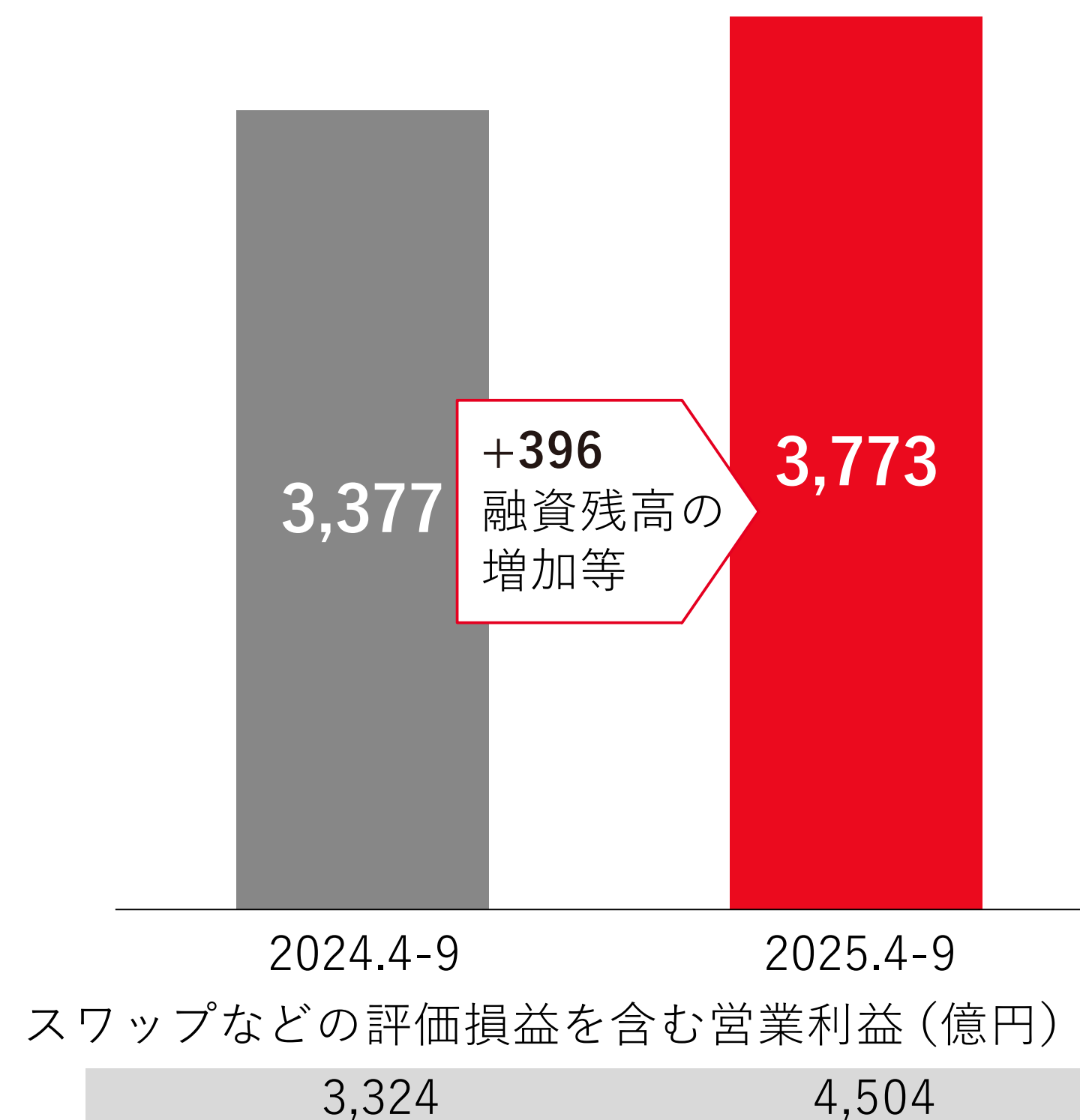
中国事業（ご参考）

- 連結子会社 営業利益（億円）
- 持分法適用会社 持分法による投資損益（億円）
- トヨタ・レクサス販売台数（千台）



金融セグメント

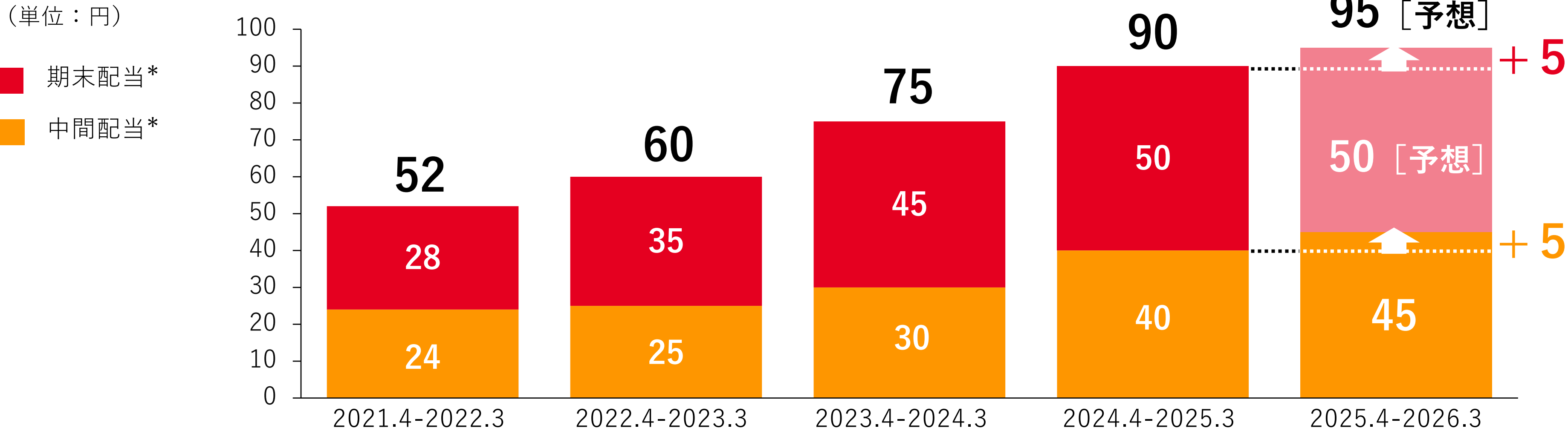
- 営業利益（億円）＜スワップなどの評価損益を除く＞



株主還元

配当・配当予想

- 長期保有の株主の皆様へ報いるため、安定的・継続的に増配を実施
- 中間：45円（前期比+ 5 円）
- 年間予想：95円（前期比+ 5 円）



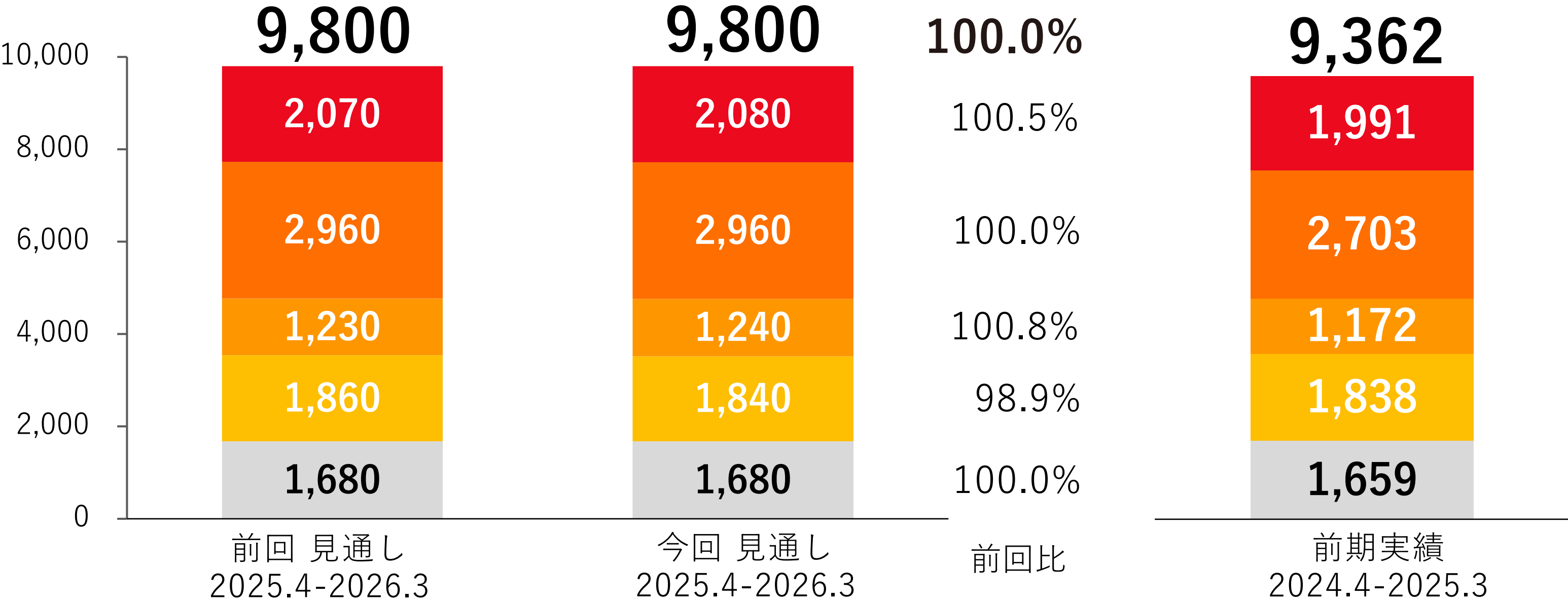
中間	配当総額(億円)	3,324	3,421	4,054	5,259	5,865
	配当総額(億円)	7,182	8,169	10,117	11,784	—

* 2021年10月1日に当社普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。'22.3期の期首に当該分割が行われたと仮定して算出。

2026年 3 月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位:千台)



ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	10,400	10,500	101.0%	10,274
電動車 [比率]	5,123 [49.3%]	5,133 [48.9%]	100.2%	4,748 [46.2%]
内、HEV	4,625	4,667	100.9%	4,441
PHEV	188	187	99.5%	161
BEV	308	277	89.9%	145
FCEV	1	1	100.0%	1
グループ総販売台数	11,200	11,300	100.9%	11,011

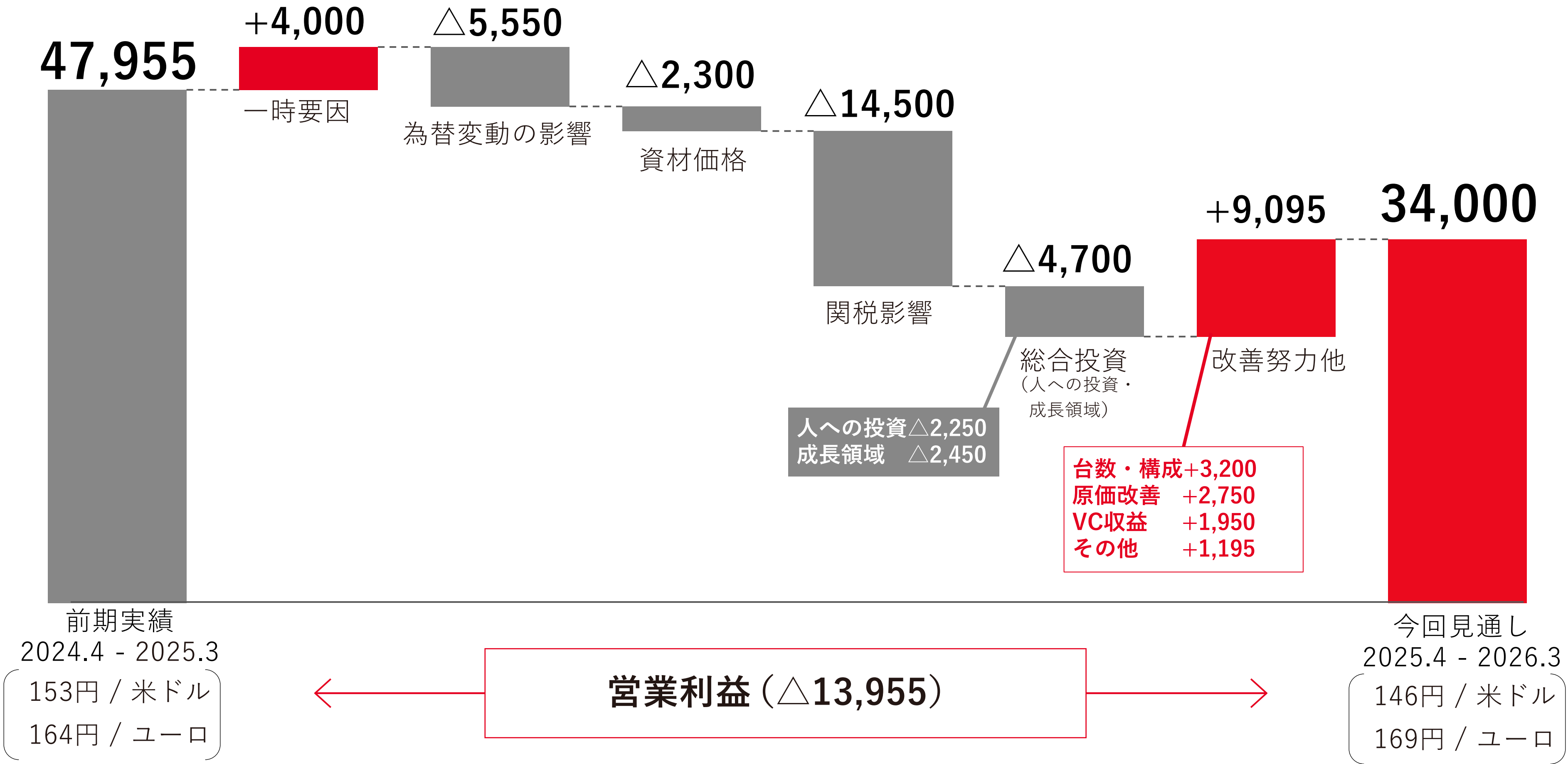
連結決算見通し要約

(単位：億円)		前回見通し 2025.4-2026.3	今回見通し 2025.4-2026.3	増減	前期実績 2024.4-2025.3
営業収益		485,000	490,000	+5,000	480,367
営業利益		32,000	34,000	+2,000	47,955
営業利益率		6.6%	6.9%		10.0%
営業外損益		6,700	7,800	+ 1,100	16,190
持分法による投資損益		5,500	5,500	± 0	5,912
税引前利益		38,700	41,800	+3,100	64,145
親会社の所有者に帰属する当期利益		26,600	29,300	+2,700	47,650
当期利益率		5.5%	6.0%		9.9%
1株当たり配当金		95円	95円	± 0円	90円
為替レート	米ドル*	145円	146円	+1円	153円
	ユーロ*	160円	169円	+9円	164円

* 第2四半期実績：米ドル146円/ユーロ168円、'25年10月以降の前提為替レート：米ドル145円/ユーロ170円

連結営業利益増減要因（前期差）

（単位：億円）



Japan Mobility Show

TOYOTA

世界中のあらゆる人々のために、発明を続け、クルマの新たな未来を切り拓く



5 ブランド戦略

TOYOTA

Brand Formation

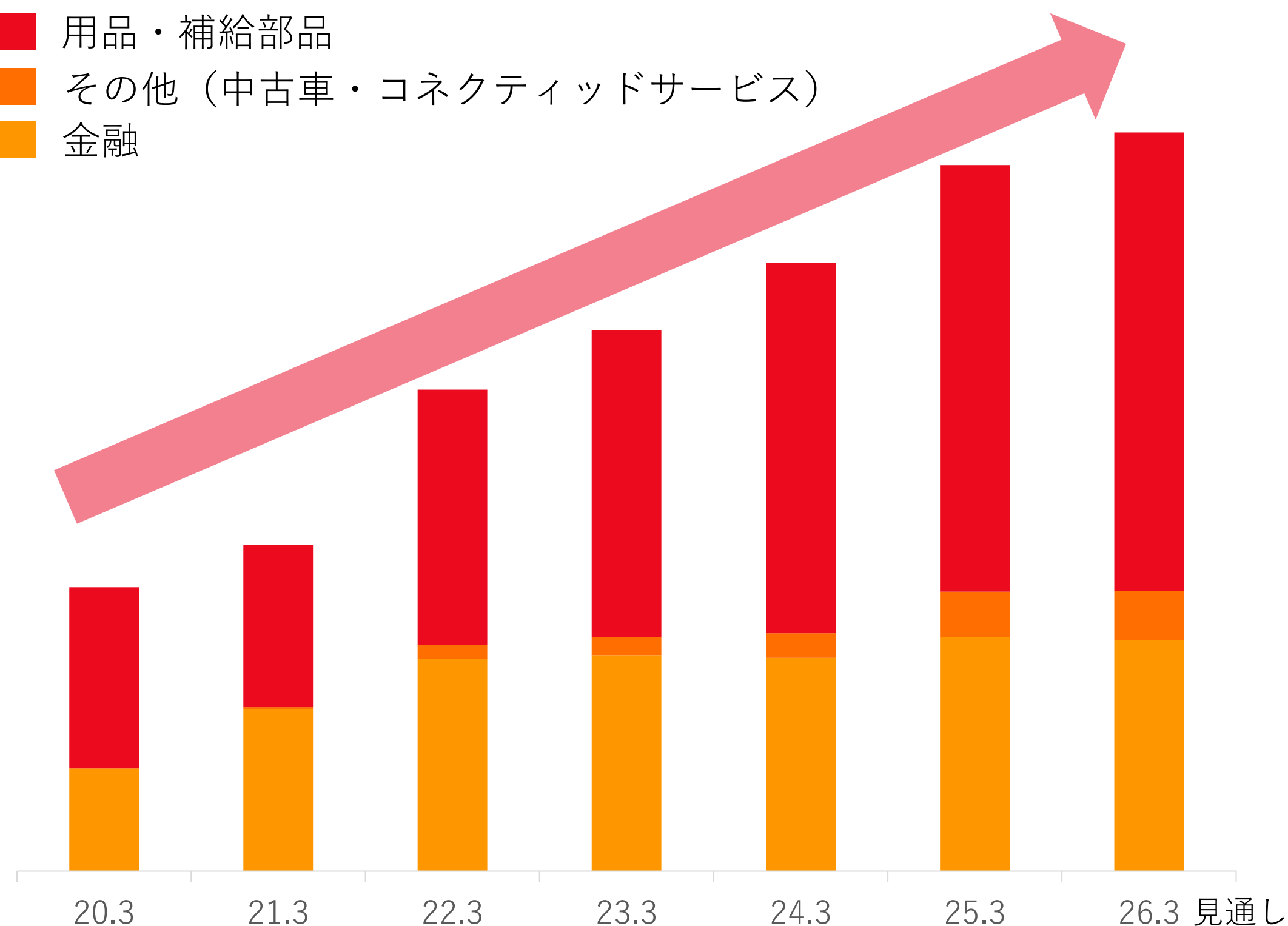


収益基盤

新車・バリューチェーン事業の相乗効果により、収益基盤を更に強固に

バリューチェーン営業利益推移

- 用品・補給部品
- その他（中古車・コネクティッドサービス）
- 金融



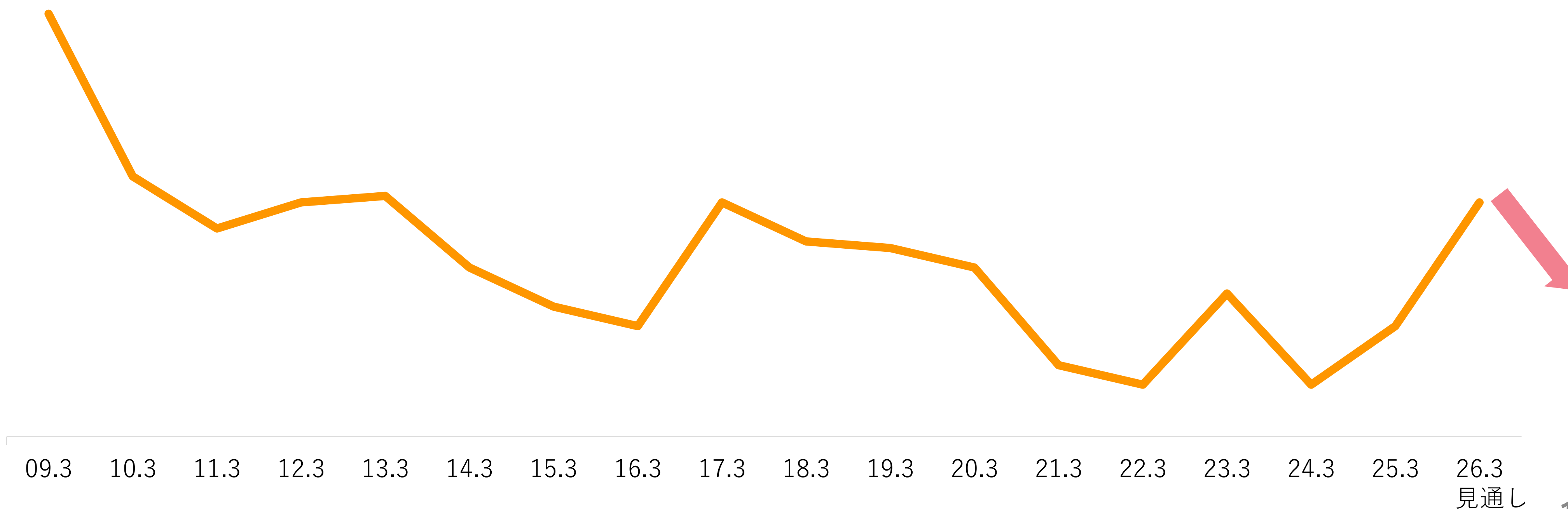
ソフトウェアづくりプラットフォーム
「Arene」をRAV4に初搭載



収益構造

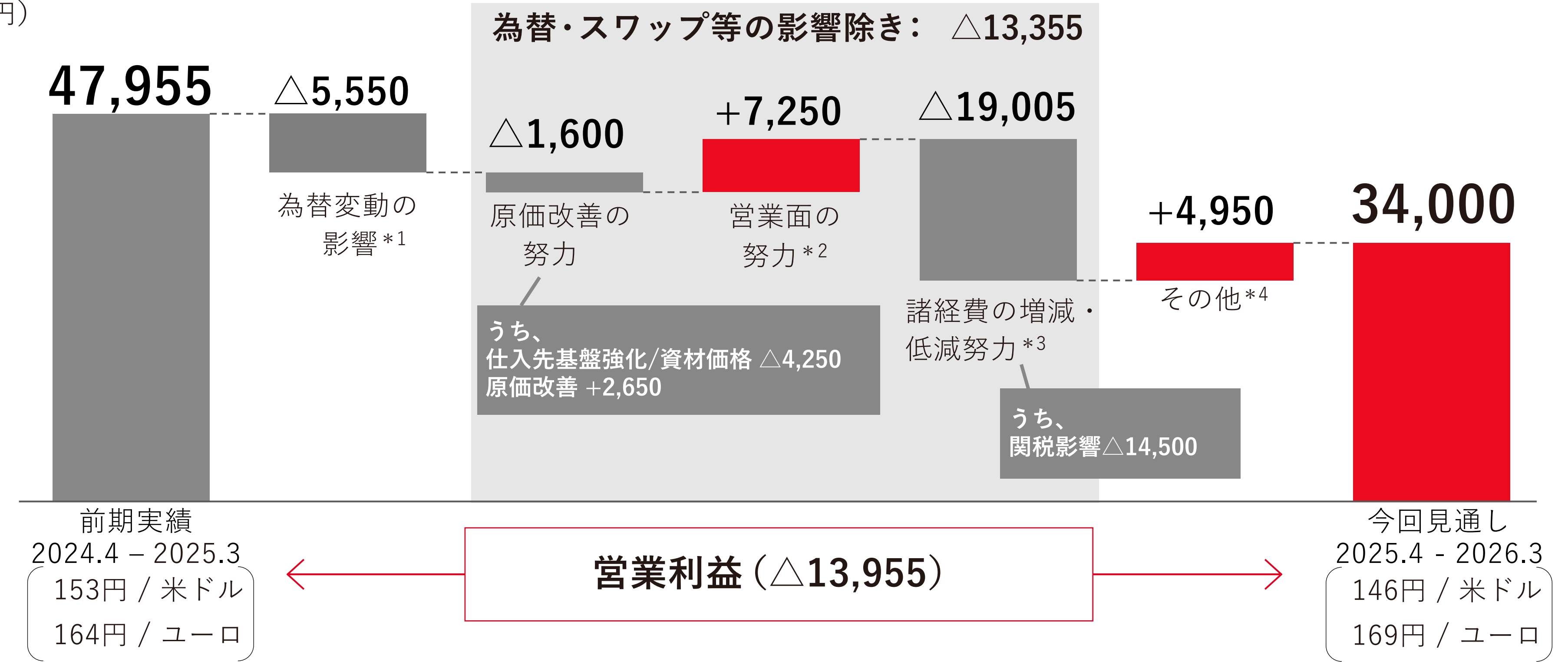
- 足場固めの活動により、安全・品質の徹底や余力創出を実現、生産が安定化
一方、米国関税影響も重なり、損益分岐台数は直近2年で大幅上昇
⇒ ヒト・モノ・カネの構えを見直し、稼ぐ力につなげる

損益分岐台数推移



(ご参考) 連結営業利益増減要因 (前期差)

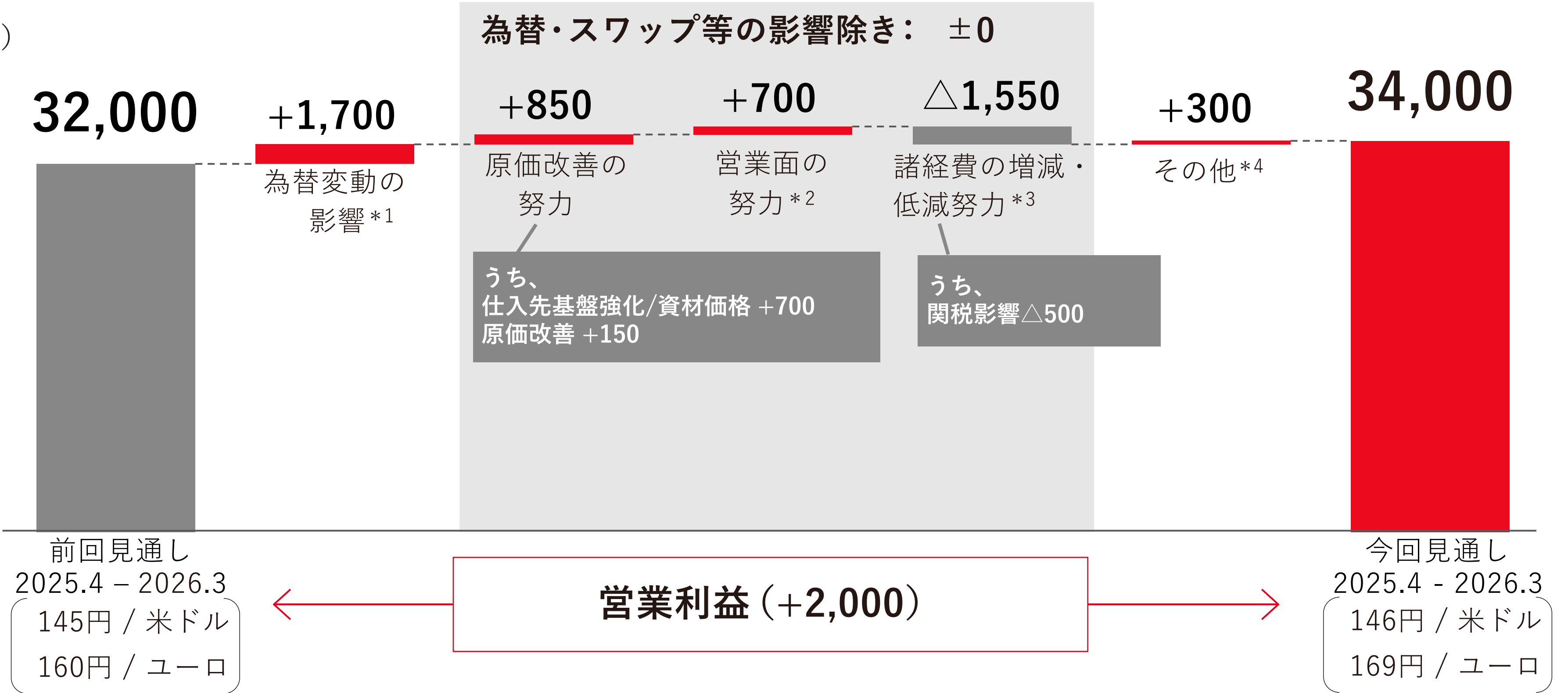
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	△5,400	台数・構成	+3,200	労務費	△1,650	スワップ等の評価損益	+650
└ 米ドル	△3,550	バリューチェーン	+1,950	減価償却費	△1,600	インフレ会計等の影響	+465
└ ユーロ	+450	└ 金融事業	+750	研究開発費	△1,000	日野認証関連	+2,805
└ その他通貨	△2,300	└ 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+1,200	経費ほか	△14,755	その他	+1,030
海外子会社の営業利益換算差ほか	△150	その他	+2,100				

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (前回見通し差)

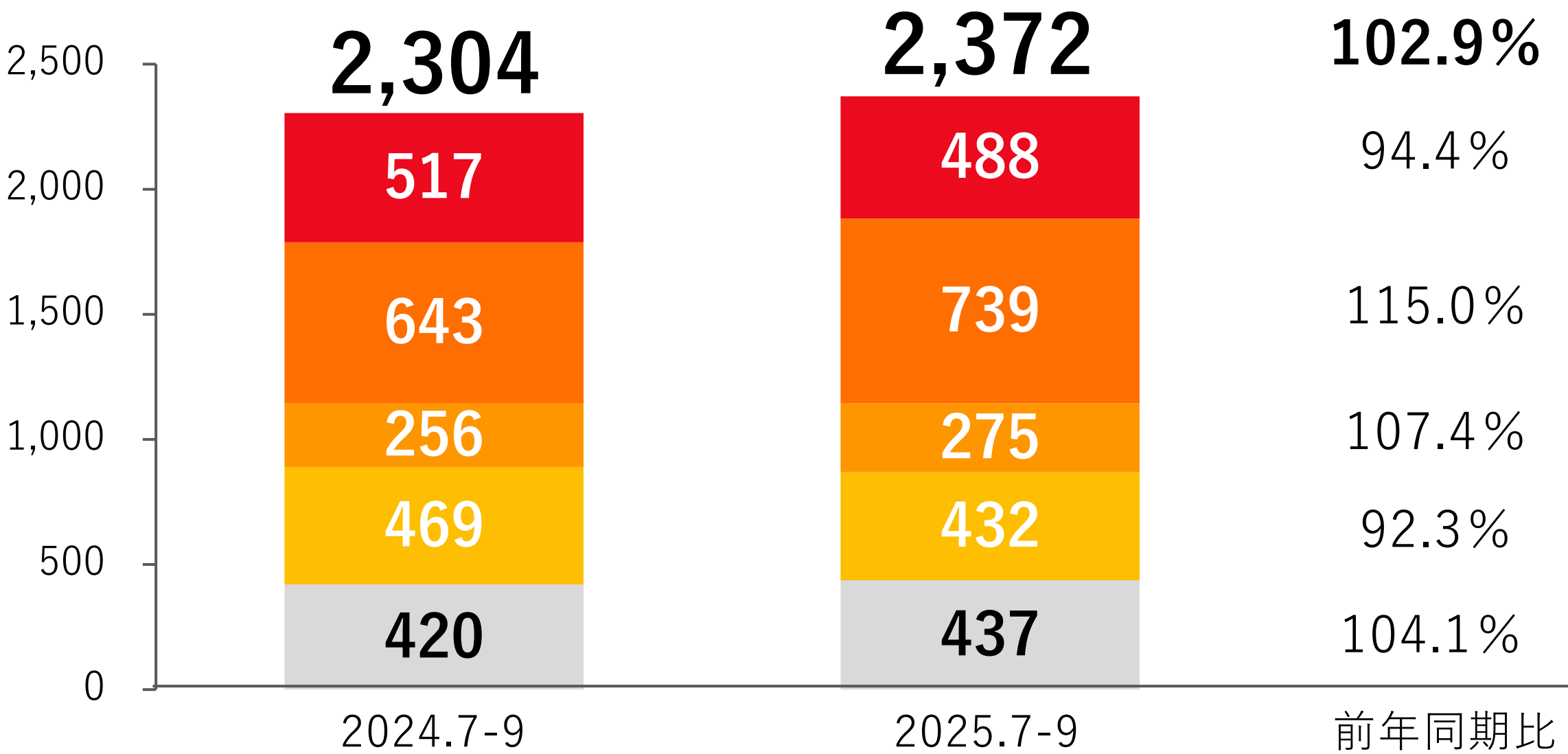
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+1,550	台数・構成	+100	労務費	+100	スワップ等の評価損益	+400
┌ - 米ドル	+450	バリューチェーン	+300	減価償却費	+150	インフレ会計等の影響	△69
└ - ユーロ	+800	┌ - 金融事業	+300	研究開発費	△600	日野認証関連	±0
└ その他通貨	+300	└ 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	±0	経費ほか	△1,200	その他	△31
海外子会社の営業利益換算差ほか	+150	その他	+300				

(ご参考) 連結販売台数 (3ヶ月)

(単位:千台)



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中東など

ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数		2,538	2,624	103.4%
電動車	[比率]	1,156 [45.5%]	1,211 [46.2%]	104.8%
内、HEV		1,079	1,106	102.5%
PHEV		41	51	122.5%
BEV		35	54	153.4%
FCEV		0	0	69.1%
グループ総販売台数		2,737	2,814	102.8%

(ご参考) 連結決算要約 (3ヶ月)

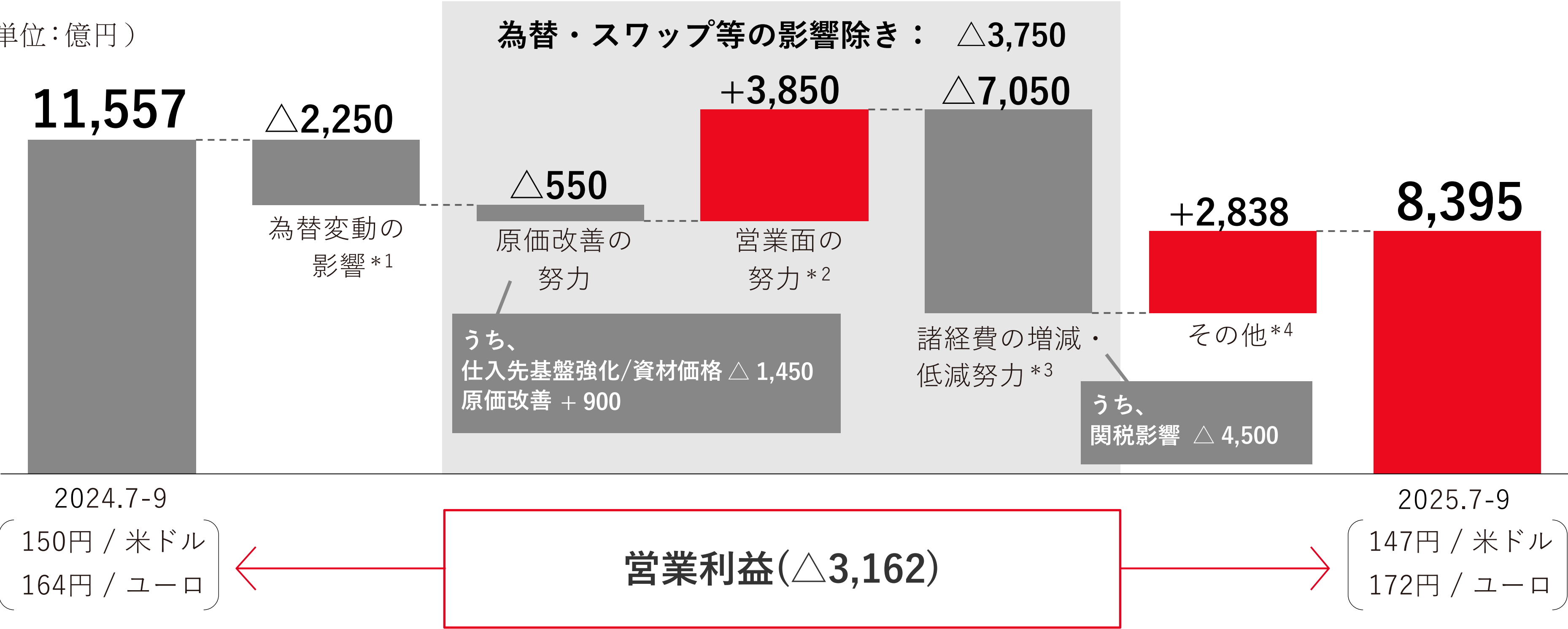
(単位: 億円)

		2024.7-9	2025.7-9	増減
営業収益		114,445	123,774	+9,328
営業利益		11,557	8,395	△3,162
営業利益率		10.1%	6.8%	
営業外損益		△2,959	3,864	+ 6,823
持分法による投資損益		993	1,315 *	+ 322
税引前利益		8,598	12,259	+ 3,661
親会社の所有者に帰属する当期利益		5,737	9,320	+ 3,583
当期利益率		5.0%	7.5%	
為替レート	米ドル	150円	147円	3円円高
	ユーロ	164円	172円	8円円安

* うち、日本870 (前年同期比+286)、中国246 (同+18)、その他197 (同+17)

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (3ヶ月)

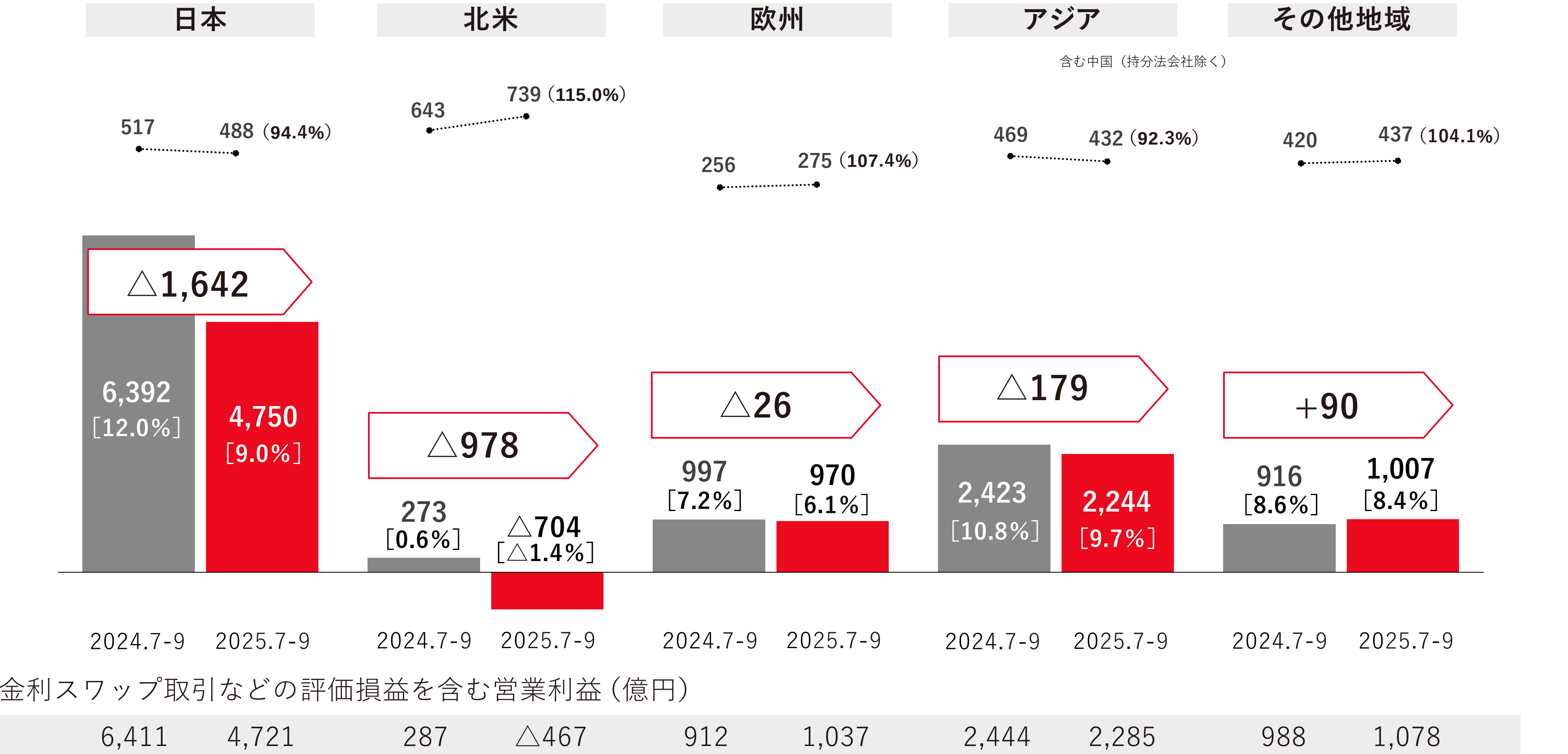
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	$\triangle 650$	台数・構成	$+1,500$	労務費	$\triangle 450$	スワップ等の評価損益	$+349$
└ 米ドル	$\triangle 400$	バリューチェーン	$+700$	減価償却費	$\triangle 100$	インフレ会計等の影響	$\triangle 23$
└ ユーロ	$+200$	└ 金融事業	$+300$	研究開発費	$\triangle 250$	日野北米認証関連 (前期の一時費用)	$+2,300$
└ その他通貨	$\triangle 450$	└ 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	$+400$	経費ほか	$\triangle 6,250$	その他	$+212$
海外子会社の営業利益換算差ほか	$\triangle 1,600$	その他	$+1,650$				

(ご参考)所在地別営業利益（3ヶ月）

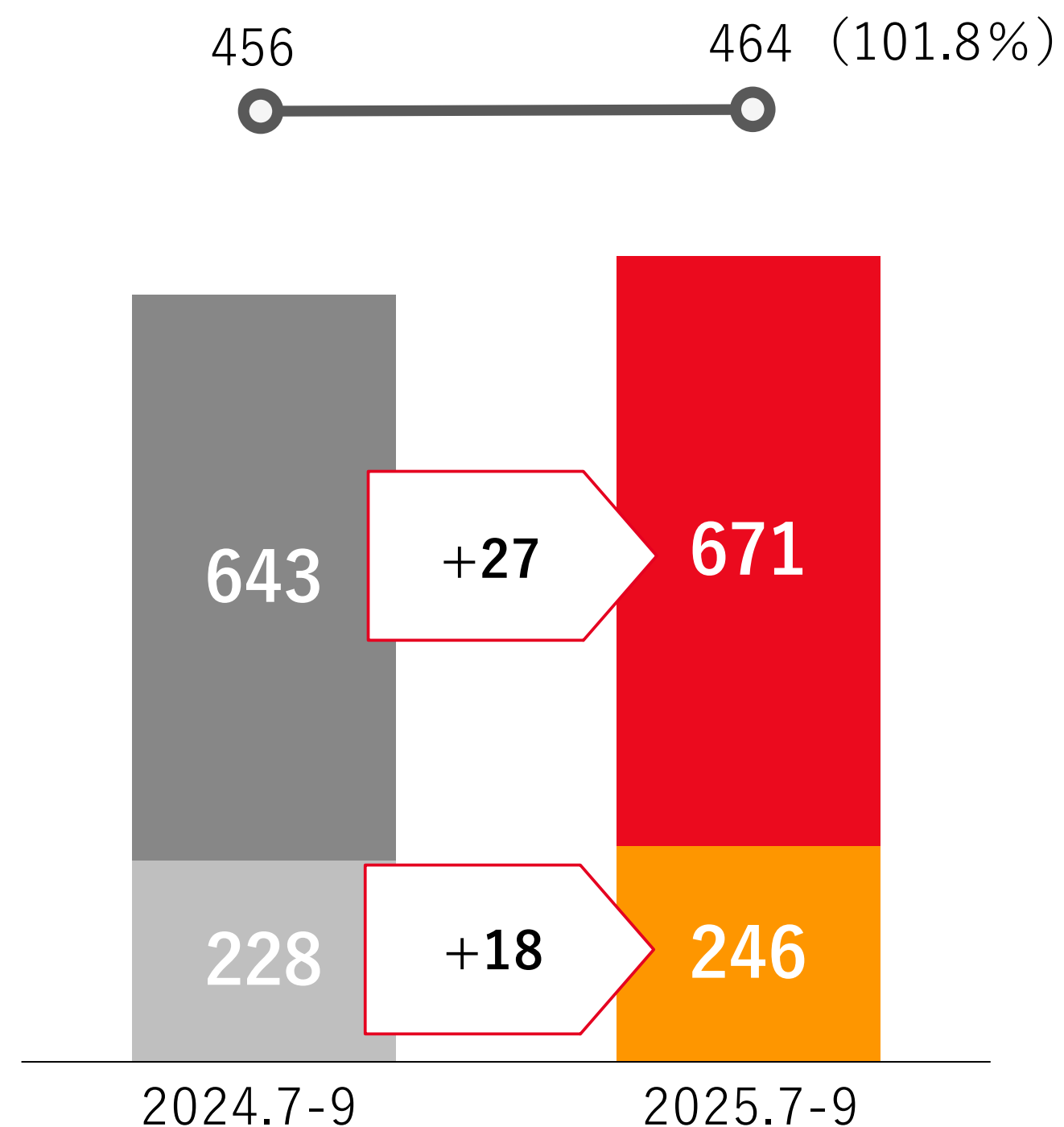
■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 •---• 連結販売台数(千台)



(ご参考) 中国事業/金融セグメント (3ヶ月)

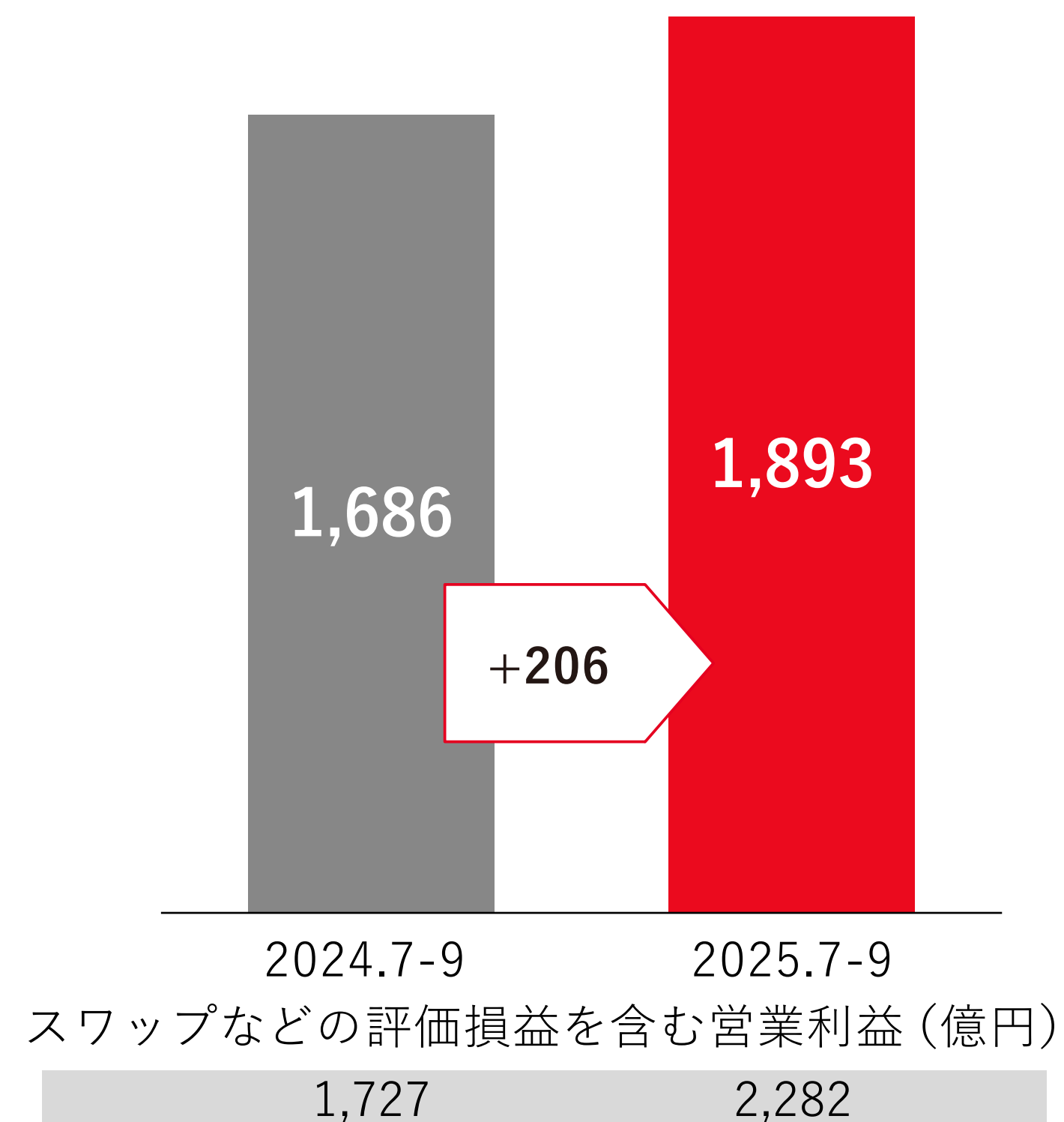
中国事業 (ご参考)

- 連結子会社 営業利益(億円)
- 持分法適用会社 持分法による投資損益(億円)
- トヨタ・レクサス販売台数(千台)



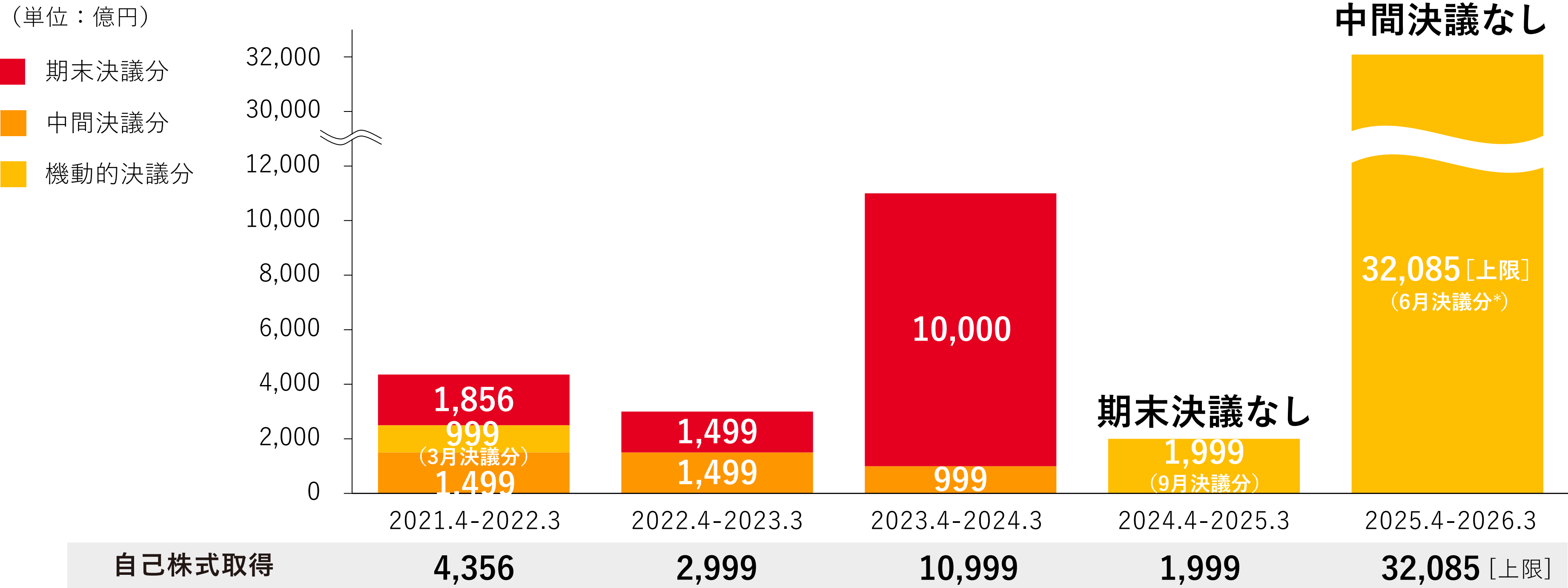
金融セグメント

- 営業利益(億円) <スワップなどの評価損益を除く>



(ご参考) 自己株式取得

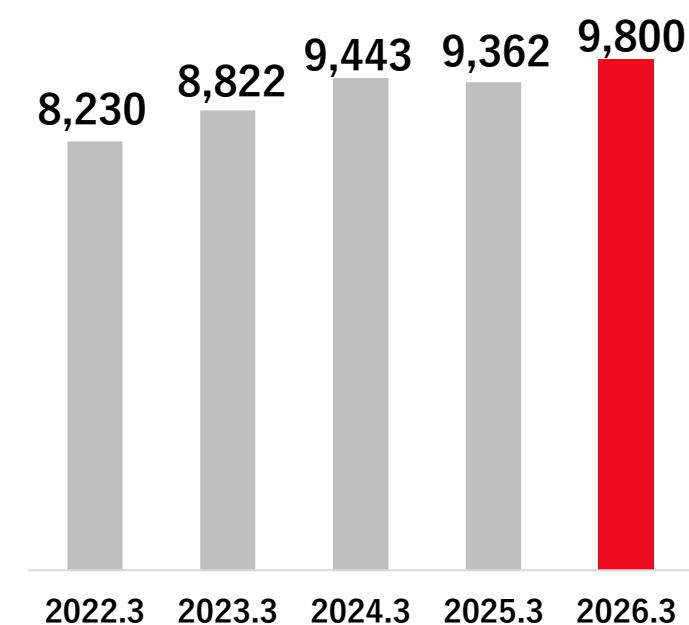
- 26年3月期 中間取得枠：なし（6月に約3.2兆円決議済み）
- 今後、株価水準等を踏まえ、また、必要に応じて当社株式の売却要請に応えるため機動的に実施



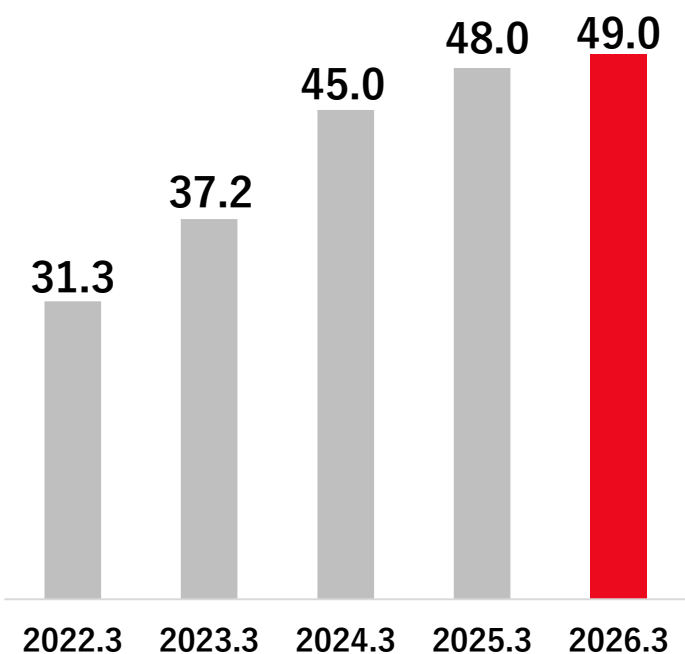
*豊田自動織機の非公開化の一環として決議。本決議分により取得した自己株式は消却予定。

(ご参考) 業績推移

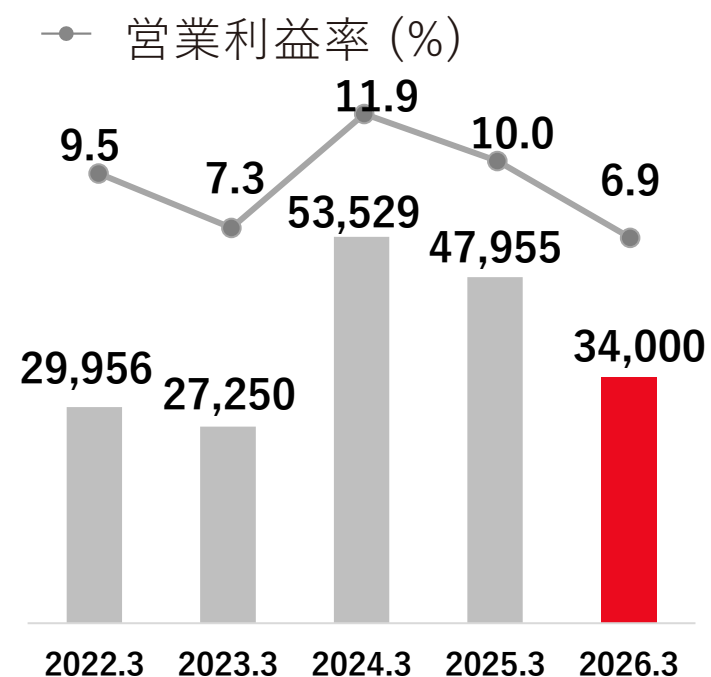
連結販売台数 (千台)



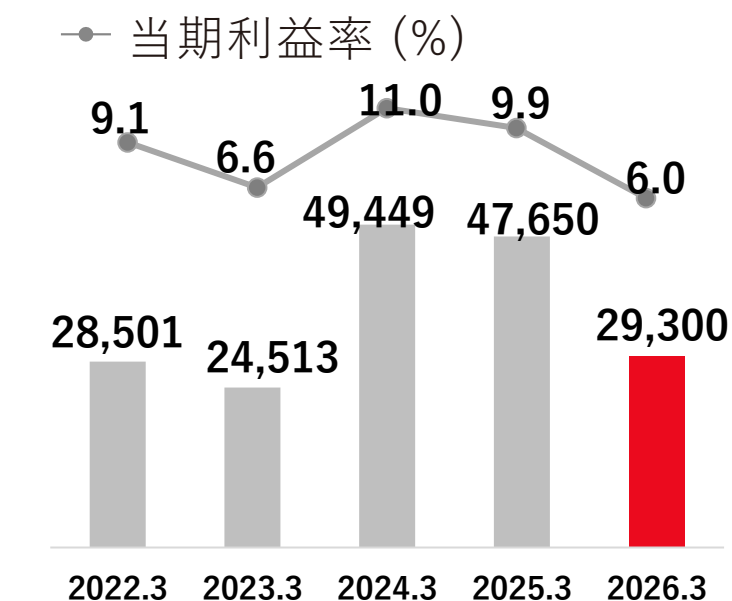
営業収益 (兆円)



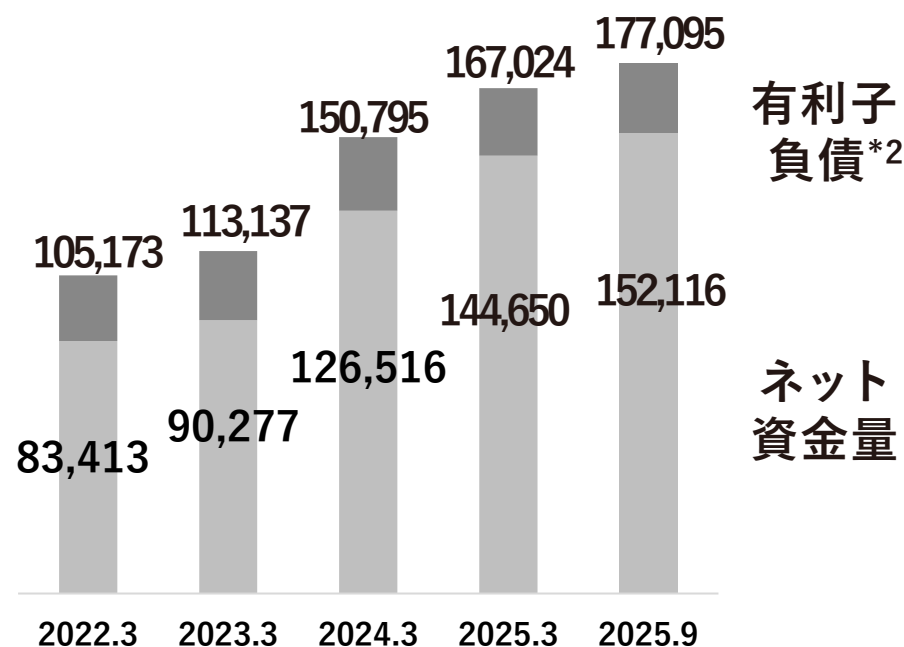
営業利益 (億円)



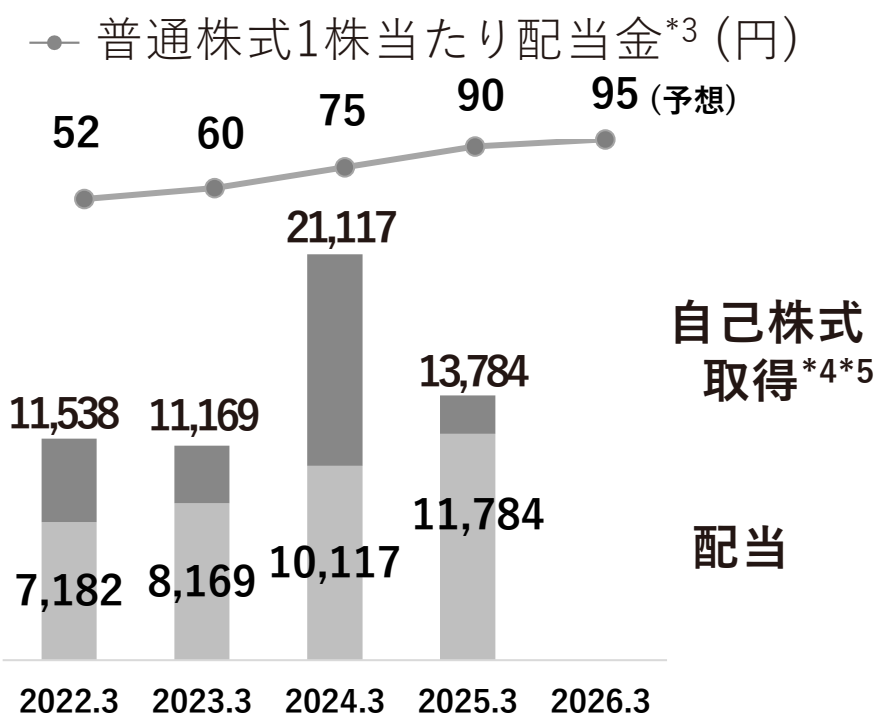
親会社の所有者に
帰属する当期利益 (億円)



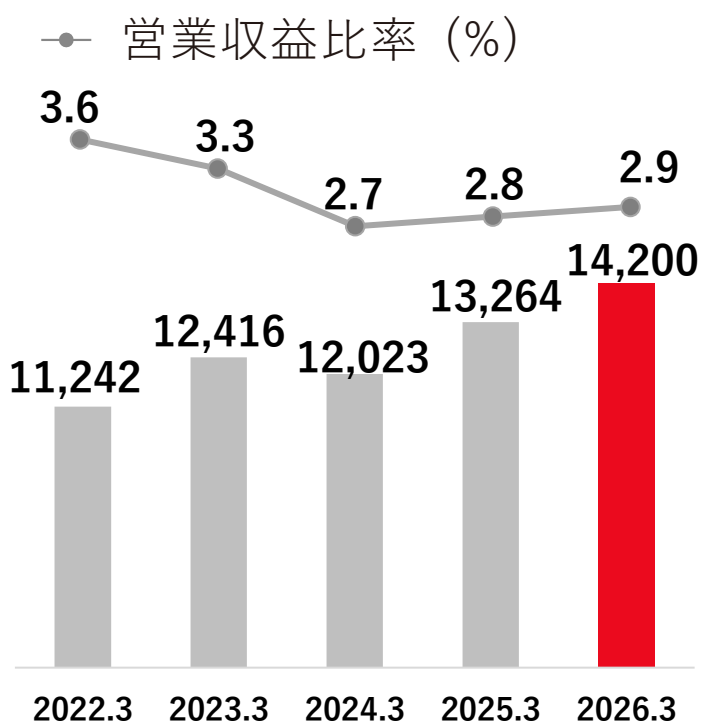
総資金量*1 (億円)



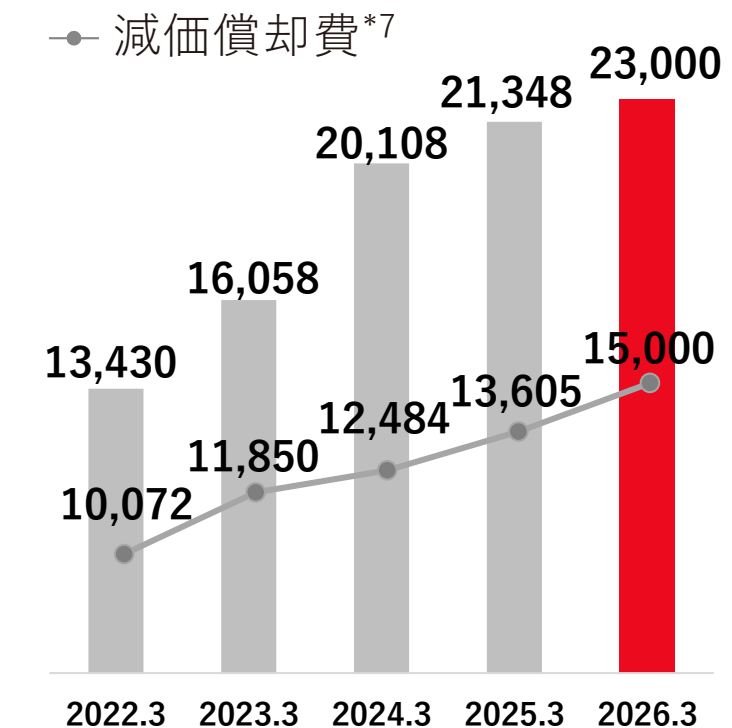
総還元額 (億円)



研究開発費*6 (億円)



設備投資 (億円)



*1 金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資

*3 1株当たり配当額は株式分割（当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施）後ベース

*4 単元未満株式の買取請求に基づく取得および取得にかかる委託手数料を除く

*5 取得期間終了前は取得価額の上限、取得期間終了後は取得した実績を記載 *6 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

*7 減価償却費・設備投資額はリース用車両および使用権資産を除く

■ 見通し

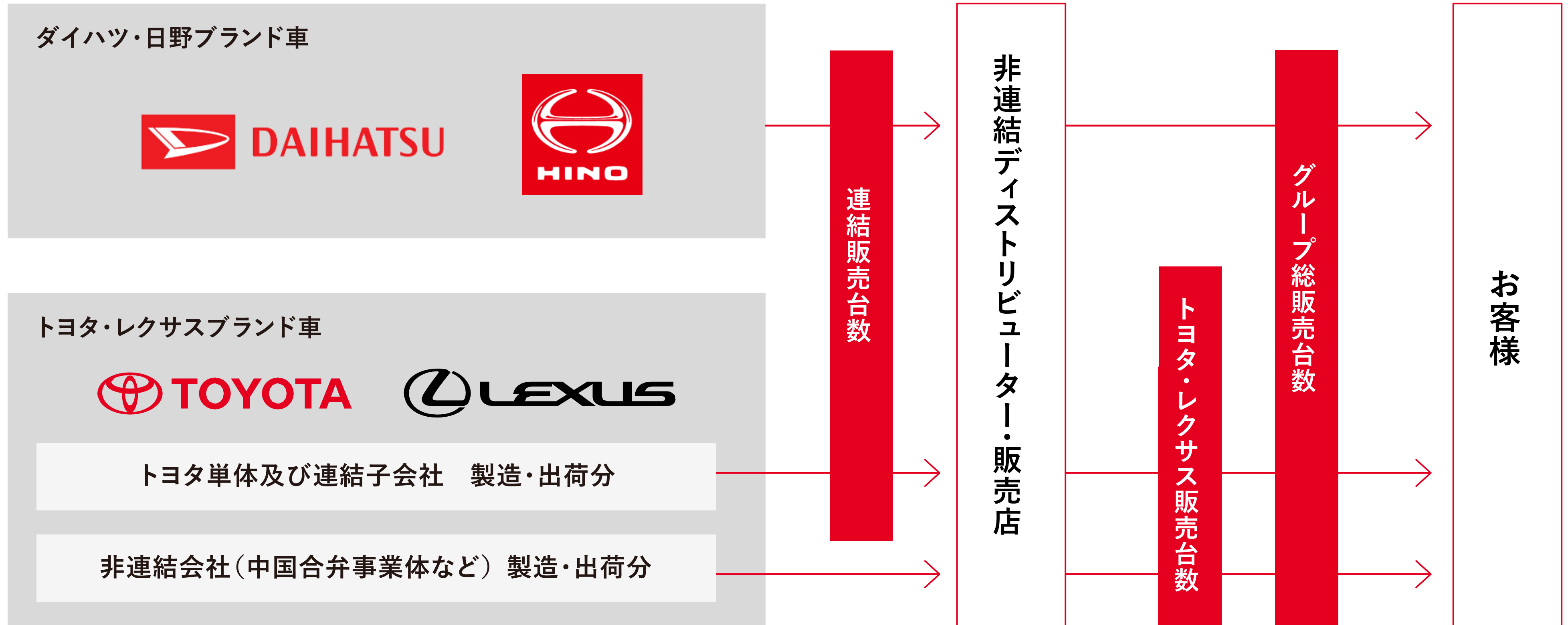
(ご参考) 台数見通し

(単位：千台)

			前回見通し 2025.4-2026.3	今回見通し 2025.4-2026.3	増減	前期実績 2024.4-2025.3
トヨタ・レクサス	生産 *	国内	3,300	3,300	± 0	3,236
		海外	6,700	6,700	± 0	6,443
		合計	10,000	10,000	± 0	9,679
	販売 (小売) *	国内	1,500	1,500	± 0	1,505
		海外	8,900	9,000	+ 100	8,768
		合計	10,400	10,500	+ 100	10,274
グループ総販売 (小売) *		11,200	11,300	+ 100	11,011	

* 非連結会社による台数を含む

（ご参考）販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り